

令和3年度全国高等学校教育改革研究協議会

令和3年11月25日（木）

栃木県教育委員会高校教育課

1 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの策定状況

○県立高校の特色化の推進～高校の活性化に向けて～

(H23.10 栃木県教育委員会 県立高校活性化部会) 抜粋

1 特色化推進のための方策

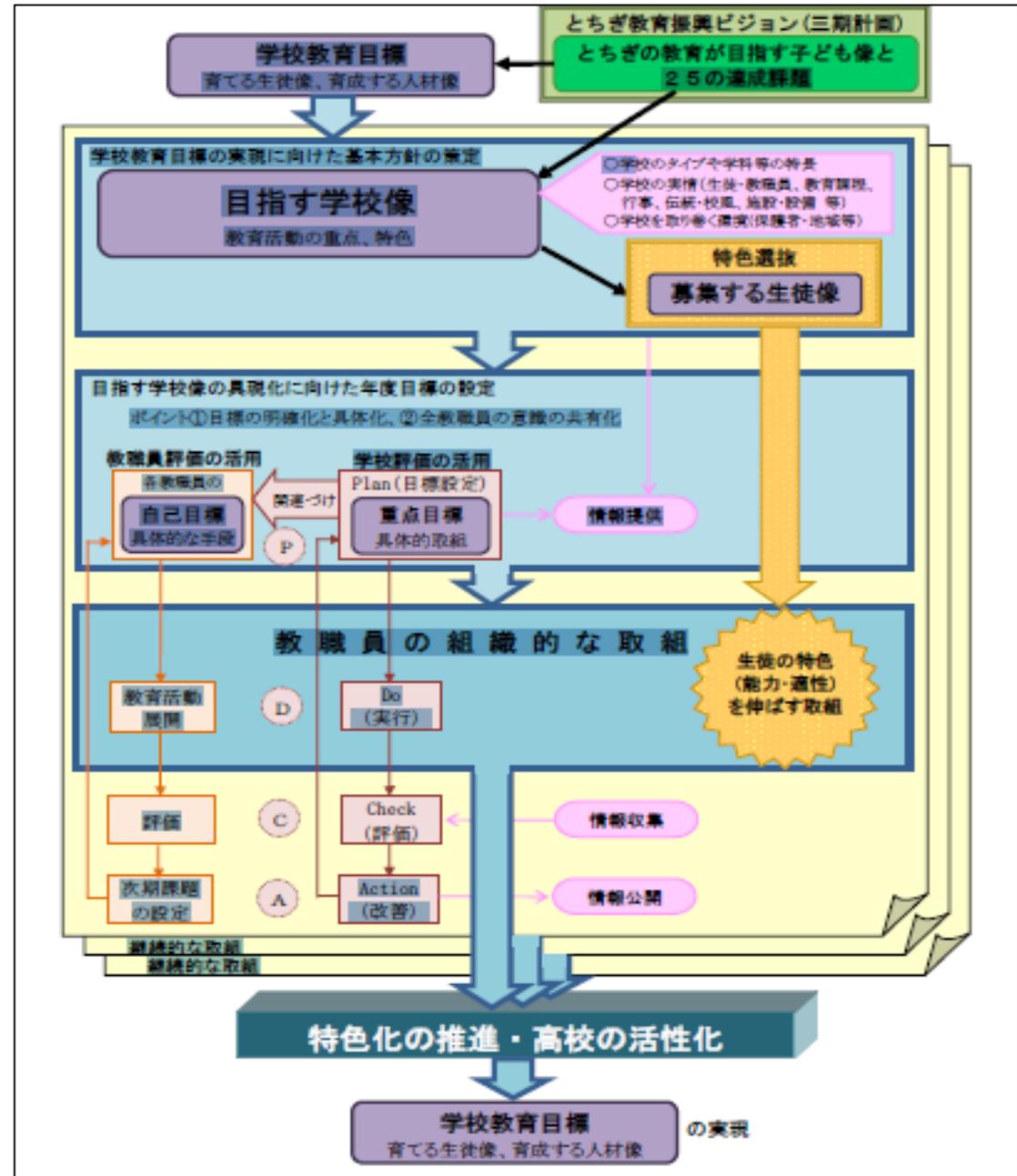
(1) 略

(2) 「目指す学校像」の設定

各学校には学校経営の基本としての学校教育目標が存在するが、その多くは、育てる生徒像など理想の姿を理念的に示したものであり、必ずしも学校の実情、生徒の実態等に的確に反映して設定されたものではなく、また、教育活動の重点を示したものではないことから、特色化を進める上での基本方針とはなりにくい状況がある。

このため、本検討部会では、学校教育目標の理念を受け、中長期的な視点で教育活動の重点を示した基本方針の設定が必要と考え、これを「目指す学校像」と定義した。各高校が「目指す学校像」の具現化に向け、全教職員が意識を共有し、組織的かつ継続的な教育活動に取り組むことで、特色化がより効率的、効果的に推進されることとなる。

上記の考えに基づき別添資料の取組イメージ図において、「目指す学校像」の位置付けを明確にするとともに、特色化の推進に既存制度等を有効活用する観点から、「目指す学校像」と、学校教育目標やすべての教育活動、「学校評価制度」等との関係の整理を図った。



○スクールミッション及びスクールポリシーの策定状況

1 スクール・ミッションの策定及びスクール・ポリシーの公表の時期について

- ・スクールミッションの策定については、高校再編計画策定のスケジュールを考慮しながら、時期を決定する予定。
- ・スクール・ポリシーについては、令和6年度末までに公表予定。

2 スクール・ミッションについて

「学校教育目標」や「目指す学校像」、生徒・保護者、地域からの期待される役割、高校の配置計画等を踏まえて検討する。

3 スクールポリシーについて

「学校教育目標」や「目指す学校像」及び「募集する生徒像」等を踏まえて検討する。

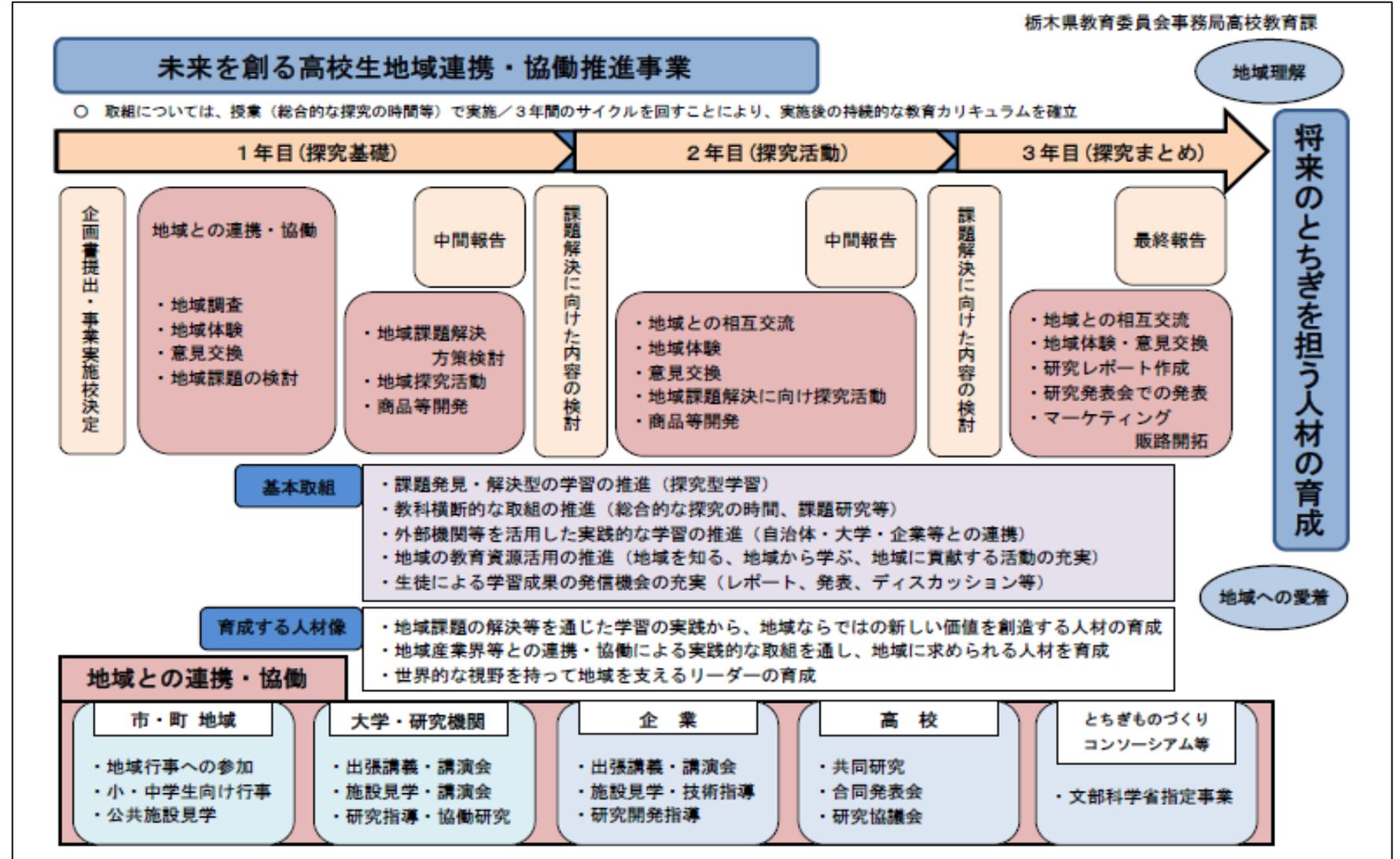
2 高等学校の特色化・魅力化に向けた方策について

○栃木県教育振興基本計画2025～とちぎ教育ビジョン～ (R3.2 栃木県教育委員会策定)

基本施策19 魅力ある県立高校づくりの推進

■主な取組

(1)学校内外の教育資源を積極的に活用するなどして、地域の特性を生かした教育課程を編成し、地域との連携・協働を進めるとともに、地域課題解決学習など探究的な学びや学校行事の創意工夫、部活動の活性化等により、各学校の特色づくりをより一層推進します。



(2)「学力向上に向けた指導体制モデル事業」など、本県の教育力向上のための事業を積極的に展開し、生徒一人一人の資質・能力の伸張に努め、魅力ある学校づくりを推進します。



学力向上に向けた指導体制モデル事業

目的 学力向上を図るための進路指導体制・教科指導体制の改善及び教員の指導力向上等

進学指導コンサルティング導入事業

進学指導アドバイザー（外部専門機関等）

- ・指定校の進学指導や学習指導における特徴を分析
 - ・学力向上に向けて必要な情報提供及び提案
- 校内体制の見直し・再構築



- 1年目 進学指導体制及び生徒実態の把握、進学目標の設定
- 2年目 1年目の取組の検証、進学指導・教科指導体制の充実
- 3年目 大学入試に向けた指導体制の完成、進学目標の達成



学びを深めるICT活用事業

ICT機器を活用し、個に応じた学習や学習活動に要する時間の確保等、効率的な学習を実現するとともに、課題設定、情報収集・分析、討論、発表等の探究的な活動を行い、大学入試に求められる思考力や表現力等を育成する。



- 〔生徒〕
 - ・探究的な学習環境の充実
 - ・学習意欲の蓄積
- 〔教員〕
 - ・教員間でのデジタル教材の共有
 - ・教材作成の効率化
 - ・教員個々の得意分野を生かして教材を作成し共有
 - その教材を用いた指導について共有
 - 学校全体の指導の充実を図る。
 - ・生徒に対する効果的できめ細やかな探究的学習の提供



教員指導力向上事業

- ・各高校の学習指導の充実に向けた支援による本県進学校の教員の指導力向上
- ・学習指導・進学指導に係る学校課題の解決支援

「現職教育セミナー」



講師（大学教員等）から、授業改善・指導力向上につながる指導・助言を得ることで、各進学校における指導力の向上を図る。

「先進校視察」

特色のある取組により進学実績の向上が顕著な学校を視察し、指導体制の改善に生かす。

